

事業名	環境浄化推進事業費			調書番号	106
細事業名	青少年の非行・被害防止県民大会開催費	財務コード	1273-03		
担当部課室	教育庁 部 社会教育 課 青少年保護育成 担当 (内線)			1606	

事業の概要

実施期間	始期 S54 年度 ~ 終期 - 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	青少年育成に関わる家庭、学校、地域、関係機関及び関係団体	青少年の非行・被害防止に関して共通の理解と認識を深め、社会全体が一体となって取り組んでいる	青少年の非行・被害防止について県民の理解を深め、青少年の規範意識を醸成するとともに有害環境が浄化され、非行・被害がなくなる
内容	テーマ「青少年の非行・被害防止」 ・講演、中高校生による意見発表、青少年健全育成成功労者賞知事表彰、大会宣言		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
活動指標	参加者数	目標	350	360	370	380	390	300	390
		実績(見込)	332	416	352	419	376	293	
		達成率	94.9%	115.6%	95.1%	110.3%	96.4%	97.7%	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	参加者アンケートによる満足度	目標	80	80	80	80	90	90	90
		実績(見込)	91	93.2	78.6	96.7	99.4	95.6	
		達成率	113.1%	116.5%	98.3%	120.9%	110.4%	106.2%	
		達成区分	b	b	b	a	b	b	
決算(予算) 単位:千円		261	261	266	266	206	206	206	

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	アンケートの結果、「大変良かった」と「良かった」の2つの評価を合わせると99%であり、参加者から、高い評価を得ている。本大会は、非行防止と青少年を取り巻く社会環境の浄化に向け、県民意識の高揚を図る貴重な機会となっている。
成果指標	b		

・活動指標、成果指標の達成率から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い		
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない		
	説明	知事を本部長とする山梨県青少年総合対策本部が、関係機関、関係団体及び地域住民と一体となって、青少年の規範意識の醸成及び有害環境への適切な対応を図る機会を提供しており、成果向上が見込める。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない		
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他		
その他	説明			
見直しの必要性	有	県民会議や市町村民会議と連携して、大会の充実を図る必要がある。		

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	県民会議実行委員会と連携し、本大会への市町村民会議構成員の参加について、積極的に働きかけ等を行う。
----------	----	---

見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。